

あのひにかえりたいほん



おかえり



本別

北海道十勝ほんべつ

本別町観光情報



本別町役場

www.town.honbetsu.hokkaido.jp/sightseeing/index.html

〒089-3392 北海道中川郡本別町北2丁目4-1

TEL 0156-22-2141(代表)

01 自然 Nature

みたいほんべつ

春にはいつせいに公園を彩るエゾムラサキツツジ、秋は紅葉と、四季折々の自然を感じられる



街と自然が共生する町、 本別町

北海道十勝平野の東北部、緑豊かな大地・本別町。道央圏・道東圏を結ぶ交通の要衝となっており、町民に愛される義経の里本別公園、野鳥や水鳥が訪れる美里別川、変化に富んだ河岸段丘の地形など、豊かな自然にあふれています。

日照時間は日本でも有数の長さを誇り、肥沃な大地には、日本一の豆に代表される豊かな農業資源があり、市街地東部の高台には、これらの自然や畑地に囲まれた市街地を一望に見渡せる神居山展望台があります。

本別町の魅力は、これらの自然と生活する街がとても近いことにあります。中心街から車で5分も走れば、季節ごとに異なった表情を見せてくれる素晴らしい自然に触れられるのです。しかもその自然は、こぢんまりしたものではなく、北海道らしい広大なものです。エゾシカ、エゾリス、キタキツネなど野生動物に出会うこともあるでしょう。



四季を通じて魅力がいつばい

春の訪れとともに本別公園では、1万6000株のエゾムラサキツツジと2000本のエゾヤマザクラがいつせいに開花し、ピンクやムラサキのきれいな花々で彩られます。つじ祭りには春を待ち望んだ多くの人たちが来場し、飛び去っていく短い春を楽しみます。

夏には、町の約6割をしめる森林が青々と茂り、気持ちのいい風が街中にたただよいます。展望台のある神居山には、めずらしい昆虫

や植物が生き、まさに生命の息吹を感じます。

赤や黄色に色づく美りの秋は、どこもかしこも慌ただしく、収穫の喜びが夕焼けに美しく映えます。農家の日常である農作業も、絵画のような魅力を与えてくれ、本別町の豊かさを実感する季節です。

白銀の世界となる冬は、厳しさの中にもキラキラとした美しさを見せてくれます。寒いからこそ見られる凜とした風景は神秘的で、北海道の魅力を発揮します。

本別町は、いつ訪れても新鮮な感動が待っているのです。



02 公園 Park

あそびたいほんべつ
 みんながこどもに戻れる「本別公園」
 家族みんなで、時間を忘れて思いっきり楽しもう！



かぶと池ボート



アスレックス



アスレックス(滑り台)



静山キャンプ村



義経の里御所



コンビネーション遊具



ゴーカート(交通公園)



大自然を目の前に 安心して楽しめる公園

本別町市街より車で5分、清流本別川の兩岸にまたがる公園には様々な施設・遊具が点在しており、魅力満載。季節によって開催されるイベントも多く、自慢の公園です。

春にはエゾムラサキツツジ、エヤマザクラが園内をピンクに染め、夏には川で遊ぶ子ども達の声が山に響きます。秋には山全体が紅葉し赤や黄の色にあふれ、木々の葉が落ちる冬には、神居山展望台から本別の河岸段丘をより一層きれいに見渡せます。こども達に大人気の遊具は、信号機や踏切を備えた本格的なゴーカート。小さなお子さんでも安心して遊べるコンビネーション遊具など、家族みんなで楽しむことができます。近年、トレイルランニングの大会も開催される山道では珍しい植物や野生動物に出会うことも。ひっそりとたたずむ推定樹齢300年ともいわれるシンボルツリーの迫力は必見です。

本別公園

- ゴーカート(交通公園)
1人乗り/200円
2人乗り/300円
- バッテリーカー/50円
- かぶと池ボート
手こぎボート/200円
足こぎボート/200円
- アスレックス広場
- コンビネーション遊具
- 義経の里パークゴルフ場
- 静山テニスコート
- 静山キャンプ村
- 義経の里御所
- 義経の館
- 義経の里休憩所ビーフハウス
- 神居山展望台



魅力を大解剖!
本別公園web

■アクセス(車)
札幌市より約3時間
帯広市より約1時間
釧路市より約1時間



03 人 People

すみたいほんべつ

地域を愛する人々が生活しています。
本別の魅力とは何なのか、その声を届けます。

この大地が 日本一の豆を育んだ

本別町は、日本一の豆のまちといわれ、高い評価を受けています。肥沃な土壌と寒暖差の大きな内陸性気候、日本有数の日照時間の長さ、良質な作物を生み出しています。そして、他の農家と生育情報を共有し、高い品質を保っている点、がこの町の特徴といえます。

親の代から豆をメインに作り続けて50年になる河野農場の河野さんは、豆生産の醍醐味を「相場的なものもあるが、作物を育て収穫する充実感が、何事にもかえがたい」と話します。直接消費者の声を聞くことは少ない中、5年前に関西を訪れた際、「十勝小豆はおいしい」と言われ、「素直にうれしかった」と語る河野さん。

全国的にもブランド力がある十勝小豆、『十勝小豆を使っています』の表示を見ると、自分たちの仕事に誇りを感じるという河野さんは、消費者を意識しながら手間を惜しまず、豆の品質を高める『二才積み』による生産を続けています。

本物の納豆をめざして60年

『十勝産大豆を原料としない納豆は納豆とは認めない』ことを信条に、60年間納豆づくり一筋の山口醜酵食品。現在の代表である山口絢市さんは同社の創業について先代から「十勝で納豆づくりを勉強し、釧路で商売を始めようとしたが、どうせ納豆をつくるなら豆どころのここがいい」と本別を選んだと聞いています。

現在、納豆生産の原料は輸入大豆が大半を占める中、十勝産大豆の使用はゼロに等しく、納豆になる大豆は幻ともいわれています。そんな中、山口さんは、「十勝の中でも本別の豆は世界品質と確信している」と語り、安全・安心に配慮し、有機肥料を使っている町内の農家と直接契約を結び、除草剤を使わず手間をかけた大豆を原料としています。

他社の納豆と違う点は、「手詰めであることと、豆にシワがあること」とこの二点だと言つ山口さん。煮た豆を手で優しく容器に詰めることで豆と豆の間に空気が保たれ、豆がまんべんなく発酵し、うまい納豆ができるのです。さらにもう一つ、納豆のうまさの条件は、かんだときの歯ざわりにあると言います。この歯ざわりの良さを感じさせるシワがあるのは、全国に数ある納豆の中でもここだけといわれています。この本物へのこだわりが、60年間評価を受けているゆえんだと語ります。



People #02
[山口醜酵食品]

山口絢市さん

60年の歴史を持つ山口醜酵食品2代目。「人が変わると造られる納豆も変わってくる。だからこそ、より安全でうまい納豆造りに専念し、なによりも正直でありたいと思います」と力強く語る。



People #01
[河野農場]
河野広明さん

親の代から豆をメインとした畑作を50年。受け継いだ知識と、身に付けた経験を次世代へと伝えていく準備も進めている。なにより作物を育て収穫する充実感にこの仕事のやりがいを感じている。



すみたいいほんべつ

本別で生まれ、本別で育った
自分たちの手で次の世代へつなぐ故郷



People #03
[手打蕎麦たじま]

太島 尊士さん

調理師学校卒業後、札幌で会社員として働いていたが、思いあって地元本別へ戻る。その後、両親の知人より紹介を受け蕎麦打ち技術を習得。現在もさらなる高みを目指して勉強中。



People #04
[山内バット製材工場]

山内 淳一さん

父の代からバット製材工場を営み、2017年で創業56年を迎えるバット業界を支える老舗。豊富な経験と知識を次の世代へ継承し、100年へ向け、活躍の場を待つ木と日々向き合う。



風味豊かな「十割手打ち」

十勝は誰もが知るそば処。大雪山の麓に広がる十勝平野は、古くから良質なそばの産地として知られています。そばの白い花で美しく畑が染まる時、厳しい環境の中で育つその花が、この大地同様、力強く美味しいそばの実を私たちに届けてくれます。

老舗のそば店が多い十勝ですが、2014年本別町にオープンしたのが「手打蕎麦たじま」。かつて地元で人気店だった「つつじそば」の意思を継ぐ店として、早くも町内外から「そば通が通う店」となりました。このそばは同じ十勝の陸別産や道内産のそばを使用。濃い褐色でコシのある中細麺は、つなぎを使わない「十割手打ち」。太島店主の頑固なまでの「こだわり」のそばは、そのコシと風味はもちろん、旬の美味しさを味わっていたために、夏の暑い時期、厳しい冬の時期と、季節によって使用するそば粉を変えてそばを打っています。そのこだわりはそば湯にも表れ、たじまの場合ゆで汁にそば粉を足してそば湯としています。

店内は和風モダン造りで、かかっている音楽もジャズ。器にもこだわっており、そばを目でも楽しむことができます。「そばにもサーブスにも満足してもらいたい」と若く勉強熱心なその姿勢は、そば処十勝の神髄をしっかりと發揮してくれそうです。

優れた目利き力と
木材に対する愛

全国に名を知られるようになった山内バット製材工場。かつて北海道に60社あったバット製材工場は、いまでは2社しか存在していません。以前は限られたメーカーとの取引でしたが、現在は全メーカーとのお付き合いがあるといいます。それを支えているのが木材の良し悪しを見極める目利きです。この工場から出荷される木材が、大リーグ、日本プロ野球と多くの選手のバットになっています。徹底した素材選びが、華やかなプロの世界を支えているのです。

「イチロー選手は、2015年まで北海道のアオダモを使っていたが、入手困難になり代わる物をと、米国のハードメイプルやホワイトアッシュを選びました」と答えてくれた山内社長は、ニューヨークの大リーグ殿堂博物館に行った時、イチロー選手の紹介コーナーに「アオダモのバットがあり、特別な感慨があったといいます。」

山内バット製材工場では、自然乾燥で、木を強くしています。メーカーに送る前の資材置き場で「ここにある木材は私の子どものようなものです」とほほ笑む山内社長。また、技術を持った有能なスタッフの存在があってこそ、安心して海外との取引に行くことができます。野球選手の思いを描き、豊富な経験を積んだ山内社長の心眼はつねに磨かれ続けています。



道の駅「ステラ★ほんべつ」

北斗七星をイメージしたデザインで7つの尖塔が特徴です。売店では農家のお母さんたちが愛情こめて栽培した豆類や野菜類を格安で販売しています。また、『豆の町本別』を代表するキレイマメ製品や焼きたてパン、ソフトクリームも注目の商品です。



「十勝ポップコーン」

前田農産が生産する北海道産とうもろこしを原料とした、電子レンジ専用ポップコーン。
〔有〕十勝太陽ファーム

「ほんべつ黒豆うどん」

本別産きたほなみ小麦と本別産祝黒大豆を使用。黒豆きなこの香ばしい香り、乾麺とは思えないツルツルとした食感、温かいうどんはもちろん、香ばしい風味を楽しむ冷たいうどんもおすすすめです。〔有〕源すし



「くり豆ようかん」 「元気くん最中」

大正6年創業。老舗和洋菓子店の銘菓。
〔有〕松月堂



「素焼黒豆」「十勝黒豆のお茶」「オホーツク塩豆」 「羊羹」「素焼き焙煎豆」

昔ながらの手作りで甘納豆、羊かん、焙煎豆、豆茶等を製造しています。〔(有) 豆屋とかち岡女堂本家〕



「北部納豆」「黒豆納豆」「田舎納豆」

手造りの味にこだわり創業60年。十勝大豆のみを使用した納豆です。〔(有) 山口醗酵食品〕



「どん菓子」

本別町高橋農場が生産から乾燥まで手掛けている原料を使用し、甘味は北海道産ビートを主に使用した、無添加で体に優しいお菓子です。
〔(有) 丸坂対馬商店〕



「三升漬」「なんばんみそ」「もろみ」

昭和8年創業、添加物・保存料は一切使用せず、昔ながらの製法でじっくりと歳月をかけて熟成させ、素材の旨味を引き出した自然食品。〔淡谷醸造(株)〕

毎日お豆を食べましょう

本別生活学校を主宰する林敏子さんが監修発刊した豆のレシピ本。〔林敏子著〕



「ほんべつ大福」

本別産「エリモ小豆」「中生光黒大豆」使用。キレイマメの豆大福ときなこ大福がセットになった本別自慢の大福です。
〔道の駅「ステラ★ほんべつ」〕



「ほんべつとぺんぺの甘納豆」

自家生産のくり豆、白花豆、青えんどうの3種類を甘納豆にしました。
〔くり豆本舗〕



「生豆」

農家の方の名前が書いてある日本一の豆の町、本別町産の豆。

「手作りジャム」

果物が美味しい時期に手作りしているジャム。自家菜園の木苺や、本別町産ハスカップなど多い時には十数種類になることも！
〔欧風ケーキ工房かねもり〕



05 道の駅 Shopping

本別の美味しさ・楽しさが分かる町の拠点道の駅「ステラ★ほんべつ」でお買い物

おみやげほんべつ

レストラン「秀華」

中華料理が中心ですが、地場産の食材を使って様々な料理を提供します。ランチセットから本格中華ディナーまで楽しめるお店です。



パン工房「アリオヴェール」

焼きたて、出来たてパンが人気！なかでも食パン「小麦の匠」と本別産の豆が入った「豆パン」は、焼き上がってすぐに売り切れるほどの大人気パンです。



地元特産品販売コーナー

特産品である豆を中心に、本別で収穫された新鮮野菜、加工品が並んでいます。また、本別ブランド「キレイマメ」や銘菓、木工品なども取りそろえています。



観光案内所

本別町の四季折々の自然に恵まれた本別公園などの観光情報、キレイマメなどの特産品、イベント情報、グルメ情報などが分かります。



06 宿泊 Stay

とまりたいほんべつ
本別公園静山キャンプ村
心地良い自然と一体になれる特別な場所



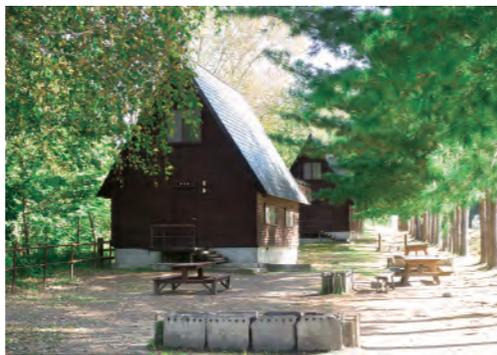
自然の音に耳を傾けながら
大地の上で寝る最高の贅沢
本別公園内にある宿泊施設は、
静山キャンプ村テントサイト・バン
ガロー、そして義経の里御所。なん
ととってもオススメはキャンプ！
本別川のせせらぎを聞きながら、
満天の星を眺めて過ごす時間を想
像しただけで、こころが癒やされ
る。市街地からも近いので、新鮮な
食材を思い思いのスタイルで調理
し、家族でとっておきの思い出つ
くりを。きれいなトイレや駐車場
もすぐ近くなので、快適なキャン
プを楽しめます。



大人数で楽しみたいなら、バン
ガローがおすすめ。30人まで泊ま
れて1棟3600円！この価格な
ら、夕食を思いっきり豪華に楽し
めそう。バリアフリー設計で安心
して過ごせる義経の里御所は、お
風呂、キッチン、トイレなど生活に
必要な設備が付いているので安心
して過ごせます。そして一歩外に
出れば、庭先で炭火を囲んで食事
を楽しめます。

利用案内

テントサイト、駐車場ともに無料
バンガロー(30人用)1泊3,600円
バンガロー(16人用)1泊2,400円
御所(1棟5人まで)1泊11,000円
バンガロー、御所の宿泊は要予約
■予約先 義経の館 TEL0156-22-4441



07 温泉 Hot Springs

とまりたいほんべつ
美里別川沿いに湧く源泉掛け流しの温泉
日本庭園を眺める露天風呂や大浴場が評判

源泉掛け流しの上質な湯 本別温泉グランドホテル

本別市街地からおよそ2km、毎
分300ℓの豊富な湯量で源泉掛
け流しの贅沢を楽しめる本別温
泉。露天風呂から見える庭園の景

色と、刺激が少なく肌に優しい単
純泉は、老若男女問わず人気の湯
です。また、厳選食材を使った料理
もお楽しみいただけます。



本別温泉の主な効能

神経痛	くじき
筋肉痛	運動麻痺
関節痛	疲労回復
五十肩	慢性消化器病
痔疾	病後回復期
冷え性	健康増進
うちみ	関節のこわばり

日帰り入浴料金

大人:500円 子ども:300円
(大浴場・休憩室ご利用可能)
ご入浴時間/13時~22時
(受付/21時まで)

08 祭り Events

行きたいほんべつ
 数々のイベントが開催される本別
 一つひとつに人々の温かさが伝わる

みんなの顔が見えるお祭り
 この町が好きな理由がここに

一年にいくつものお祭りがある本別町。祭りを作る人、参加する人、作り手の想いは代々受け継がれ、この町の『元氣』がここにある。決して大き過ぎない本別町の温かさを感じる事ができ、さらに目と目を輝かせている新しい世代が次のお祭りを作り上げていく。



本別町
 マスコットキャラクター
 元氣くん

きらめきタウンフェスティバル 秋

本別で一番大規模なお祭りです。4千発規模の花火大会、有名歌手を招いた歌謡ショー、さまざまなステージイベントを2日間にわたって開催します。(毎年9月上旬開催)



春

本別山溪つつじ祭り

春の訪れとともに開催される、つつじ祭り。ピンクや紫のきれいな花々で彩られた本別公園を会場に、多くの出店や楽しいイベントが盛りだくさん。毎年多くの来場者でにぎわっていますので、つつじの花に囲まれてのんびり過ごしてみたいいかがでしょうか。



夜でかけナイト

町内商店街を中心に開催されます。商店街有志による出店やフリーマーケットのほか、子どもから大人まで楽しめる催しも企画しています。



ほんべつ肉まつり

町内外で生産された肉を多くの人に味わってもらおうと企画されているイベントです。会場では、本別産の黒毛和牛や豚肉などが多数販売され、多くの来場者が焼肉を楽しみます。

夏

本別ひまわり三千坪迷路

町内美里別東下のひまわり牧場に、総延長約1.5kmのひまわり迷路が登場します。期間中は食べ物、飲み物を販売するテントが並ぶほか、ゲーム大会や動物とのふれあいコーナーなどもあります。



ほんべつ夏まつり事業・盆踊り

役場前駐車場を会場に、こどもから大人まで多くの人が盆踊りを楽しめます。

樽生ビアー彩

短い夏を盛り上げる毎年恒例のビアガーデンです。会場には飲食店などが多数出店し、大人も子どもも楽しめるお祭りです。にぎやかな夏の一夜を野外でビール片手に過ごしてみませんか。



スターフェスティバル

銀河通り商店街で楽しいステージショーや豪華景品が当たる大抽選会があり、子どもたちにも大人気のイベントです。

冬

ステラ★ほんべつ冬あかり

道の駅を中心に、町民が思い思いに作り上げたアイスキャンドルをともし、幻想的な一夜を演出します。



ほんべつ豆まかナイト

本別町の特産品である「豆」をテーマに豆まきやお笑いライブ、ゲーム大会などを企画し、「日本一の豆のまち」にふさわしく節分を盛り上げるイベントです。



各イベントに関する詳細は、本別町観光サイト内の「イベント情報」を参照ください。